

Tempo Primo

株式会社テンポプリモ

マネジメント・オフィス

〒104-0061 東京都中央区銀座 5-15-19 銀座三真ビル 4F

Phone: 03-3524-1221 / Fax: 03-3524-1222 / E-mail: info@tempoprime.co.jp

プレスリリース PRESS RELEASE

2019年9月20日

株式会社テンポプリモ

代表取締役 中村聡武

この度、弊社所属アーティストであります、指揮者のシズオ・Z・クワハラが、ウラジオストク・マリインスキー劇場の首席客演指揮者に就任いたしましたので、お知らせいたします。日本人の血を引き、国際的に活動する指揮者クワハラの今後に、是非ご期待下さい。

日本の演奏家がウラジオストク・マリインスキー劇場の首席客演指揮者に就任

2019年9月13日

シズオ・Z・クワハラ(日本/アメリカ)が新シーズンよりウラジオストク・マリインスキー劇場の首席客演指揮者に就任いたしました。ウラジオストクでの数回の客演にて観客やオーケストラの激賞を受けたマエストロは、今回劇場のオーケストラと定期的に共演することとなりました。

10月にはシズオ・Z・クワハラ(日本/アメリカ)の指揮によりヴェルディの歌劇「マクベス」(16日)と椿姫(19日)が2度上演されます。また10月25日にはマリインスキー劇場のオーケストラとのシンフォニー・プログラムが演奏されます。

クワハラは東京生まれ、エール大学とイーストマン音楽院で指揮を学びました。指揮者としてのキャリアは急激に上昇し、ショルティ国際指揮者コンクールで優勝を果たし、多くのオーケストラに招聘され客演することとなりました。マルコ国際コンクール、東京国際指揮者コンクール、サンクトペテルブルクのプロコフィエフ国際指揮者コンクール、ポーランド・カトヴィツェのフィテルベルク国際指揮者コンクールでも入賞しています。

これまでに、ボルティモア交響楽団など北米のオーケストラ、東京交響楽団をはじめアジア各国、デンマーク国立交響楽団、ドイツ放送交響楽団等ヨーロッパやその他の各国のオーケストラと客演しています。

2006年にはマリインスキー劇場との共演の端緒となる PMF ミュージックフェスティバルでのヴァレリー・ゲルギエフのアシスタント・コンダクターを務めました。2018年1月にウラジオストク・マリインスキー劇場と初共演。同年11月にはサンクトペテルブルクのマリインスキー劇場管弦楽団とも共演を果たしています。

公式サイト https://prim.mariinsky.ru/en/news1/2019/20/09_13 より翻訳

シズオ・Z・クワハラ Shizuo Z Kuwahara

1976年、日本人の両親の下東京に生まれる。10歳でアメリカに移住し、イーストマン音楽院を経て名門エール大学音楽科にて指揮を学ぶ。在学中にエリエザー・デ・カルバリョ賞、アイヴズ賞を、また同大大学院ではソロス・ニューアメリカン奨学金を獲得し優秀な成績で卒業。これまでに、デイヴィッド・エフロン、ローレンス・レイトン・スミス、レナード・スラトキン、デイヴィッド・ジンマン、ティモシー・マフィット、マイケル・ジンボのもとで研鑽を積んだ。2002年、バージニア交響楽団のアシスタント・コンダクターに就任。その意欲的な活動が



音楽監督ジョアン・ファレッタに認められ、2004年から2007年まで正指揮者を務める。就任直後に行われた定期公演ではショスタコーヴィッチの交響曲第10番を演奏、ヴァージニアン・ピロット紙にて「最近のバージニア響定期の中で最もすばらしい演奏」と評された。

2005年には米国オーケストラ連盟のオーディションに選ばれ、フィラデルフィア管弦楽団の特別研究員に就任。音楽監督(当時)クリストフ・エッシェンバッハのもとで研鑽を積み、就任以降取り組んだベートーヴェン交響曲のチクルスでは高い評価を得た。2006年にはPMFパシフィック・ミュージック・フェスティバルにてヴァレリー・ゲルギエフのアシスタント・コンダクターを務めるとともに、同年12月に行われた東京国際指揮者コンクールに入選、同時に日本での活動を本格的に開始した。2008年にはサイトウ・キネンフェスティバルにて小澤征爾のアシスタント・コンダクターを務めた他、2011年には日本フィルハーモニー交響楽団定期演奏会にデビュー、「推進性豊かで痛快」(東条碩夫／音楽の友2011年3月号)等絶賛を博す。これまでに日本フィル、東京交響楽団、読売日本交響楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団、オーケストラ・アンサンブル金沢、大阪交響楽団、大阪センチュリー交響楽団、仙台フィルハーモニー管弦楽団、セントラル愛知交響楽団、東京佼成ウインドオーケストラ、大阪市音楽団、フィルハーモニック・ウインズ大阪等と共演している。

2008年には第4回ゲオルグ・ショルティ国際指揮者コンクール(フランクフルト)にて優勝。これを機にヨーロッパでの演奏活動を開始し、2009年以降フランクフルト歌劇場管弦楽団、ドイツ放送フィルハーモニー、ポーランド室内管弦楽団、キエフ国立フィルハーモニー交響楽団への客演を行っている。また2009年～16年にはジョージア州オーガスタ交響楽団の音楽監督を務める。現在はオランダに拠点を移し、音楽監督ゲルギエフの信頼を得てサンクトペテルブルク・マリンスキー劇場管弦楽団でバッハとブラームスのチクルスを振るなど定期的に客演。またウラジオストク・マリンスキー劇場ではオペラデビューを果たし、ヴェルディ「椿姫」「マクベス」、チャイコフスキー「エフゲニー・オネーギン」を指揮。2019年9月には同劇場の首席客演指揮者に就任。今後の活躍が益々期待されている。

■この件に対するお問合せ先

■株式会社テンポプリモ 担当:石井毅彦 t.ishii@tempoprime.co.jp

■電話:03-3524-1221(平日10時～18時) FAX:03-3524-1222